

# 自衛隊音楽隊コンサートで 学生に自衛隊をPR



新潟地本（本部長 陸佐 大倉正義）は6月15日（土）公益財団法人 ユートピアくびき振興財団が主催する「陸上自衛隊東部方面音楽隊コンサート」を支援するとともに、募集広報ブースを設け自衛隊の魅力をPRしました。

会場となった「ユートピアくびき希望館」には満員となる聴衆者が来場しました。当日は「頸城中学校吹奏楽部」35名を招待し公開リハーサルが行われ、休憩中には音楽隊員による楽器指導も行われ、生徒達が熱心に説明を聞く姿が見られました。

その後、広報室長及び高田地域事務所長による自衛隊の職業紹介や職種説明会でも生徒達は真摯に耳を傾けていました。



午後からのコンサートは2部構成で、1部が「祝典序曲」「行進曲「春」や荒川3陸曹によるホルンソロによる「ホルン協奏曲」の1・3楽章など披露し最後は「祝典のための音楽」で締め観衆を魅了しました。



1部の余韻が覚めない中、2部が始まり「スピリティッド・アウェイ」から「スマイル」と続き細野陸士長のオーボエソロが披露された。更に矢部陸曹長、小沼3陸曹、林2陸曹の3名が「ヤッターマン」「アタックNo.1」「ルパン3世」をそれぞれ熱唱し、「グレイテスト・ショーマン組曲」では自然と手拍子が起こり、大きな拍手のなか2部が終了しました。自然に発生したアンコールでは米津玄師作詞・作曲である「パプリカ」をダンサーズ付きで披露し、コンサートは大盛況の中、全てのプログラムを終了しました。



新潟地本は、会場入口付近にブースを設置しパンフレット等を配布するとともに、コンサートの休憩中に高田所による横断幕を使った隊員募集や、マスコットキャラのマモル・マイが終了後も観客らと記念撮影を行う等、自衛隊の魅力を積極的に発信しました。

新潟地本は、これからも市民に喜んでもらえる演奏会を計画し、音楽を通じて自衛隊の魅力を発信していきます。